

平成27年度 第2回  
奈良市社会教育委員会議  
会議録

平成28年2月4日会議

平成27年度第2回奈良市社会教育委員会議会議録			
開催日時	平成28年 2月4日(木) 午前10時から午前11時45分 まで		
開催場所	奈良市役所 北棟6階 第21会議室		
出席者	委員	大井委員、岡田龍委員、岡田善委員、奥田委員、粕谷委員、川野委員、小北委員、高田委員、中村委員、服部委員、林委員 【計11人出席】 (北畑委員、谷口委員、峠委員、中井委員は、欠席)	
	事務局	教育長、教育委員会事務局理事、教育総務部長、学校教育部長、教育総務部次長、生涯学習課長、生涯学習課課長補佐、生涯学習財団事務局長	
開催形態	公開(傍聴人 0人)	担当課	教育総務部 生涯学習課
議題 又は 案件	1 各大会の参加報告 ①平成27年度人権教育シンポジウム ②平成27年度近畿地区社会教育研究大会 兼第27回奈良県社会教育研究大会 ③第57回全国社会教育研究大会 ④第47回奈良県社会教育学校 2 小委員会での検討事項報告 ①教育委員との意見交換会について(報告) ②生涯学習・社会教育に関する今後の方針について 3 その他		
決定又は 取り纏め 事項	1 生涯学習・社会教育に関する今後の方針(案)について説明し、その方向性について了承された。 2 「平成28年度奈良市社会教育目標(案)」の作成について了承された。 3 「生涯学習推進のための指針」及び「奈良市生涯学習推進基本計画」の策定準備のために、来期(第34期)の社会教育委員会議において小委員会の体制を継続していくことを決定した。		

## 議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等

### 1 各大会の参加報告

- ・各参加者から、各大会について、参加報告書を基に説明（資料1～4）。

#### 【委員からの意見等】

- ・近畿地区社会教育大会の報告の中で、学校支援地域本部の取組の紹介があったが、奈良市における学校と地域の連携事業の取組についての発表や展示（交流の集い）が、2月13日（土）12：30から、なら100年会館で行われるので、時間があれば参加してほしい。

### 2 小委員会での検討事項報告

#### ①教育委員との意見交換会について（資料5）

- ・粕谷委員より、平成27年8月26日に開催した教育委員との意見交換会について報告された。
- ・教育委員5名と社会教育委員から代表5名で、意見交換会を実施した。
- ・社会教育委員からは、社会教育活動の意義や課題、展望等について説明し、社会教育の位置づけや社会教育委員に求められるものについての考えを尋ねた。教育委員からは、社会教育は地域コミュニティの活性化につながるものであり、社会教育委員は学校と地域の連携事業やキャリア教育の中で協力してもらいたいという話があった。
- ・社会教育主事の任用や第5次総合計画への生涯学習、社会教育の位置づけ、学校以外の子どもの居場所づくりの必要性についても説明を行った。
- ・今回初めて実施した教育委員との意見交換会を来年度以降も継続して実施したいと考えている。

報告の後、意見交換会に参加した4人の委員より一言ずつ感想を述べられた。

- ・子ども達の豊かな育ちのためには学校教育だけではなく社会教育も重要であるという共通認識を持つことができた。
- ・社会教育の役割として、地域コーディネーターの研修等人材育成にも関わってほしいと思う。
- ・学校と地域の連携事業の中で、地域コーディネーターは社会教育寄りに足場を置いておられる方々であり、社会教育団体に所属されている社会教育委員の方々も協力できるのではないかと思う。また、学校の中、学校の外においても社会教育委員の力が発揮できるよう、行政の側から継続的に動いてくれるような社会教育主事が必要ではないかと思う。

<特に意見等無し>

## ②生涯学習・社会教育に関する今後の方針について

事務局より、生涯学習・社会教育に関する今後の方針（案）について説明を行った後、岡田委員より、その方針（案）について平成28年1月18日に開催した第3回小委員会で検討した内容について説明があった。

### ○生涯学習・社会教育に関する今後の方針（案）について（事務局説明）

- ・生涯学習、社会教育の現状として、1. 国の動向として生涯学習の重要性が増している、2. 様々な生涯学習、社会教育に関する課題が見えてきている、3. 奈良市の現状として毎年度策定していた「奈良市教育目標」の策定がなくなってしまう、という点から、今後の生涯学習行政の進むべき方向性を示し、各種事業を進めていく必要がある。
- ・その方向性を示すものとして、本来は生涯学習推進基本計画を策定し、計画に基づいた施策を進めるべきであるが、策定には時間を要することから、来年度以降の目下の目標や指針が必要である。
- ・来年度以降の生涯学習行政の目標、指針として、「生涯学習推進のための指針（案）」を作成した（資料10、11）。
- ・この指針を策定した後、指針をベースとして生涯学習推進基本計画を策定し、平成33年度に開始する第5次奈良市総合計画に反映させたいと考えている。
- ・指針（案）については、来年度中の策定を目指し、策定準備の中で社会教育委員の方々の意見や協力をお願いしたい。

### ○第3回小委員会で検討した内容（岡田委員説明）

- ・小委員会では、生涯学習行政の今後の方針として、生涯学習推進基本計画と生涯学習推進のための指針の策定について進めていくことを了承した。
- ・しかし、来年度から奈良市教育目標の作成がなくなり、指針策定までの期間（今年4月から）の生涯学習行政の方針が何もなくなってしまうことから、4月以降の方針として、平成28年度奈良市社会目標を作成することを提案した。
- ・計画の名称として、事務局から「生涯学習推進基本計画」と示されているが、名称と計画の範囲について議論を行った。「生涯学習」というと幅広い分野が含まれ、その推進計画となると行政の中でいろいろな部署が関わってくる。計画の中身としては生涯学習の理念を整理しながらも、生涯学習課が今後事業をどのようにすすめていくのか、社会教育活動を行っている方々をどのように活かしていくのか、またそれが奈良市民の生涯学習にどのようにつながっていくのかを見通した計画策定をすすめていく必要がある。
- ・地方創生が盛んに言われており、奈良市もまち・ひと・しごと創生総合戦略を策定され、「まち」と「ひと」の部分では生涯学習が密接に関わってくると思う。そういう意味では、指針（案）の目標の副題として、「市民の学びが地方創生につながる」というビジョンがあってもいいのではないかと思う。

○小委員会からの意見を踏まえ、事務局から今後の方針について説明を行った。

- ・平成28年4月からの生涯学習、社会教育の方針が必要であると考え、平成28年度の奈良市社会教育目標を作成し、市民の皆様にお示ししたいと考えている。平成27年度教育目標の社会教育の目標や目指す社会像、取組の方針をもとに、平成28年度奈良市社会教育目標（案）を作成した（資料9）。
- ・生涯学習推進基本計画については、平成29年度以降に策定したいと考えている。計画の位置付けについては、奈良市総合計画や奈良市教育大綱との整合性を図り、他の個別計画と同列のものとし、計画の中には生涯学習の概念や構想を示した上で、生涯学習課として取り組んでいくべき施策を掲げた計画を策定したいと考えている。

#### 【委員からの意見等】

(A 委員)

- ・資料9の平成28年度社会教育目標と資料11の目標の違いがよく分からない。  
→平成28年度については資料9の社会教育目標をもとに、平成29年度以降は資料11（生涯学習推進のための指針）の目標をもとに施策を行っていきたいと考えている。

(B 委員)

- ・資料11も社会教育目標なのか。  
→資料11は平成29年度以降の目標「生涯学習社会の実現」のイメージ図である。資料9は平成28年度社会教育目標である。

(C 委員)

- ・社会教育目標と生涯学習推進のための指針の目標があり、「社会教育」と「生涯学習」の違いの議論になり、混同する状況があるので、整理が必要である。行政単位で行うべき範囲を示すとともに大きく見渡したときに生涯学習にリンクしていくという考え方が必要である。
- ・昨年末に中央教育審議会から「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」の答申が出ており、地方創生のためには教育も関与していかなければならないと書かれている。中身としてはコミュニティスクールが主として書かれているが、学校教育の荷重負担が重くなる一方であるので、社会教育や学校以外のひとづくり、まちづくりによる地方創生を考えなければならないと思う。

○会議長より、「生涯学習推進のための指針」や「生涯学習推進基本計画」の策定においては、社会教育委員の意見等も反映してほしいが、年に2回の定例の会議では詳細な部分にまで関わっていくことが難しいことから、今後も小委員会の体制を継続し、計画等の策定に関わっていったらどうかという提案があった。

- 生涯学習・社会教育に関する今後の方針（案）の方向性について了承された。
- 「平成28年度奈良市社会教育目標（案）」の作成について了承された。
- 「生涯学習推進のための指針」及び「奈良市生涯学習推進基本計画」の策定準備のために、来期（第34期）の社会教育委員会議においても小委員会の体制を継続していくことを決定した。

### 3 その他

#### ①第33期奈良市社会教育委員の任期について

- ・ 今月18日をもって、第33期の社会教育委員は任期満了となる。
- ・ 今期で退任される委員は5名である。

資 料	<p>【資料1】平成27年度人権教育シンポジウム参加報告書</p> <p>【資料2】平成27年度近畿地区社会教育研究大会 兼第27回奈良県社会教育研究大会参加報告書</p> <p>【資料3】第57回全国社会教育研究大会参加報告書</p> <p>【資料4】第47回奈良県社会教育学校参加報告書</p> <p>【資料5】教育委員との意見交換会について（報告）</p> <p>【資料6】生涯学習・社会教育に関する今後の方針について</p> <p>【資料7】奈良市生涯学習推進基本計画について</p> <p>【資料8】生涯学習推進計画策定状況一覧</p> <p>【資料9】平成28年度奈良市社会教育目標（案）</p> <p>【資料10】生涯学習推進のための指針（案）</p> <p>【資料11】生涯学習推進のための指針（案）イメージ図</p> <p>【資料】 第3回小委員会会議録</p>
-----	--